

大和平野中央田園都市構想

～ Well-beingなまちづくり～



Startup Village in Miyake



Wellness Town in Kawanishi



Wellness Town in Tawaramoto

本構想は、以下QRコードのページからご覧いただけます。



 **奈良県**

令和5年2月16日



はじめに

奈良県では、大阪のベッドタウンとして発展してきた経緯から、若者の流出が課題であり、多様で良質な雇用の場を創出することが重要課題の一つとなっています。また、県内各地の土地利用については、農地とまちづくりの調和と共生が喫緊の課題となっています。

一方、リニア中央新幹線、大規模広域防災拠点、京奈和自動車道など、新しいインフラ整備の波が押し寄せています。

大和平野中央部は、交通アクセスが良く人が集まりやすい、高いポテンシャルを有する地域です。これを最大限活用し、若者や女性の働く場の創出、県民の健康増進、暮らしやすさの向上を目指す「大和平野中央田園都市構想」を、近い将来、奈良県を見違えるように良くしていく戦略の大きな柱の一つと位置づけ、磯城郡3町と協働して取組を進めています。

令和3年11月に本構想のキックオフ会議を開催して以後、これまでに、民間事業者・有識者・国・市町村等が参画するコンソーシアム形式による検討会を8回、県民の皆様も参加するフォーラムを1回開催し、議論を深めてきました。皆様から、多くのアイデアを寄せていただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

そして今般、「大和平野中央田園都市構想 ～Well-beingなまちづくり～」を取りまとめました。「県立工科大学（仮称）とスタートアップヴィレッジ」や2つの「ウェルネスタウン」をテーマとする拠点づくりを核として、4つの分野、16のテーマにわたり、将来的な県域全体への展開を視野に入れつつ、磯城郡3町で先行的にチャレンジする取組を掲げています。

これらの根底に一貫しているのは、デジタルなどの技術も活用した「住民の幸せ、住民の暮らしの向上（Well-being）」という願いです。

今後も、県勢発展の起爆剤となる「大和平野中央田園都市構想」の実現に向け、しっかりと取り組んでまいります。